

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	文学部
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置（院・専院）
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント（FD）の実施状況と有効性

○2009年度からの目標

1. 「文学部研究業績評価基準」並びに「同細則」の定期的な見直しを実施する。
2. 現在、ネイティブの教員がいない外国文学語学の専修において、ネイティブの教員を任用する。
3. 現状のままでは2013年度に61歳以上の教員比率は32%になるが、この比率を上回らないように人事施策を進める。

○指標

1. 「文学部研究業績評価基準」並びに「同細則」
2. 文学言語学科の各専修（英米文学英語学専修・フランス文学フランス語学・ドイツ文学ドイツ語学）におけるネイティブの教員数
3. 専任教員の年齢構成比率